

# 陸生化砂州が橋脚周辺の河床変動に及ぼす影響に関する基礎的研究

春名孝紘、緒方勇希、小川芳也（大阪工業大学工学部都市デザイン工学科）  
川池健司、山上路生（京都大学防災研究所）

## 1、研究概要



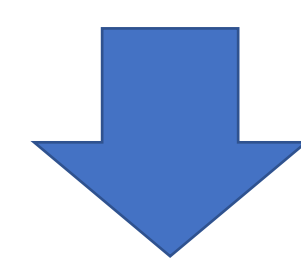
実際に発生した事故(中国新聞HP)



航空写真(Google map)

近年、大雨により河川の水位が増大し、橋脚周辺の洗掘が促進したことにより事故が発生

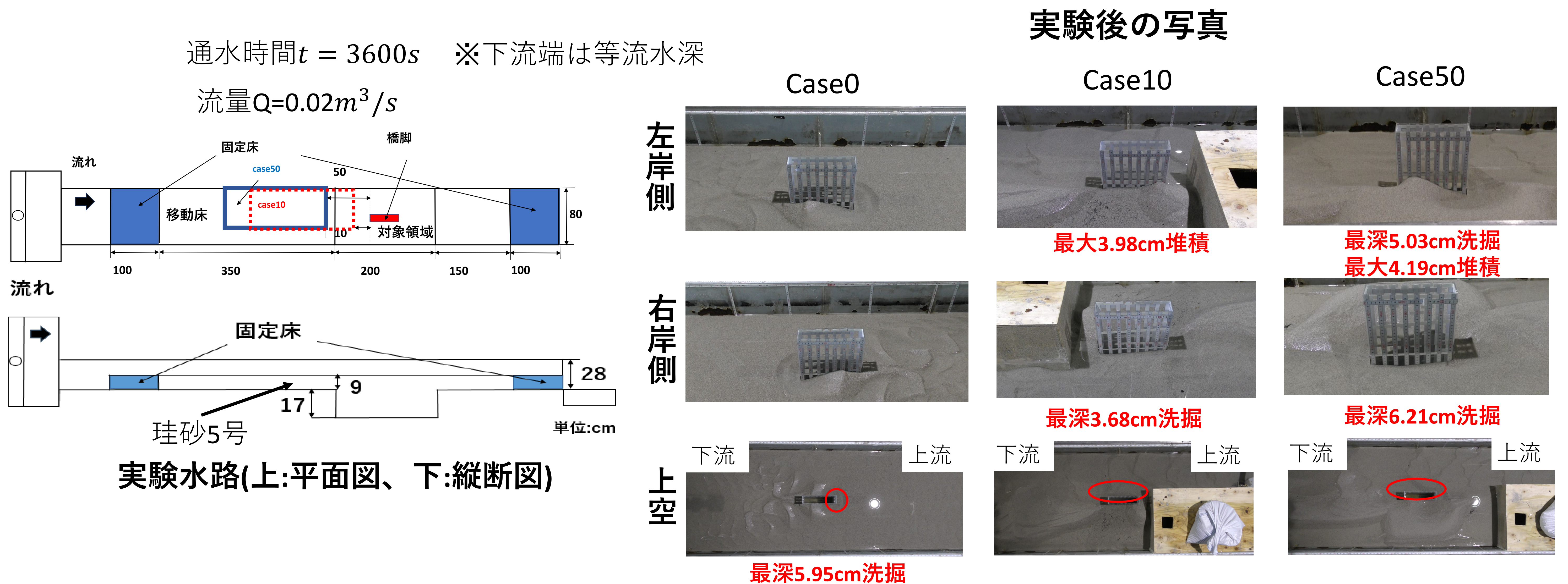
原因は？



砂州が植生化したことにより砂州が固定化し、橋脚周辺の流れに影響を与えたことが懸念される

砂州と橋脚の位置関係で洗掘、堆積の仕方がどのように変わるのか？

## 2、研究方法・結果（模型実験）



## 3、まとめ

- 橋脚より上流付近に砂州などの障害物が存在しない場合、橋脚上流側付近で局所洗掘が発生する。
- Case10とCase50は右岸側に最も深い洗掘が確認でき、Case50の方が大きかった。
- 3つのCaseを比較するとCase50の右岸側が最も洗掘された。
- 橋脚と砂州の位置関係によっては、砂州がない場合よりある場合の最大洗掘深が大きくなる可能性があることを示唆した。